

文字もじMOJIの世界

12. 秀英体の昨日今日明日

宮田 愛子*

人の対話を通じて、気づくことは多い。今年で2年目を迎える「フォントの日」(4月10日)に開催されたイベントで、パネリストをする機会に恵まれた(本誌7月号P.74参照)。アドビシステムズ社が提供する「Typekit」から、当社の「秀英体」を提供している縁だった。「タイプデザイナーになったきっかけは?」との質問に、壇上で唯一タイプデザイナーではない私は、秀英体を担当することになったきっかけをそのまま答えた。「(会社の)配属です」と。身も蓋もない回答に笑いも起きたが、目に見えるものを作りたいという志を持って入社した身にとって、書体開発に携わることはこれ以上ない程にマッチしたテーマと改めて感じていた。

時代を生き抜く書体

秀英体は大日本印刷のオリジナル書体である。その名は当社の前身である秀英舎に由来する。優美でしなやかな線画を持ち、美しく読みやすい書体として多くの書籍や辞典に使われるなど、100年以上にわたり編集者やデザイナーだけでなく、読者からも親しまれてきた歴史ある書体だ。

明治生まれの秀英体は、活字から写植、CTS、DTPと利用環境が変遷する中で、技術やメディアに合わせ進化することで、その時

代を生き抜いてきた。ユニコードに対応するための字種拡充、角ゴシックの追加によるファミリー展開、TrueTypeやOpenTypeなど新しいフォントフォーマットへの対応等、10~20年おきに改刻や新規開発を重ね、常に使われ、選ばれる存在であり続けている。

そんな秀英体に2003年から携わっている。当時、明朝3ウエイトと角ゴシック4ウエイトからなる7書体だった秀英体のデジタルフォントも、2005年から7年をかけて行った全面リニューアルプロジェクト「平成の大改刻」を経て、現在は18書体のラインアップを擁するまでになった(図1)。プロジェクトがどのように始まり、どのような過程を辿ったかは『100年目の書体づくりー「秀英体 平成の大改刻」の記録』にまとめている。

2009年の「MORISAWA PASSPORT」への搭載を皮切りに、利用環境を広げてきた。今では「LETS」「TypeSquare」「Typekit」「FONTPLUS」「REALTYPE」と様々なサービスで使うことができる。

情報伝達の手段が多様化する現代においても、その中心には「言葉」があり、「文字」がある。言葉に込めた「想い」を伝え、円滑なコミュニケーションを助くというフォントが担うべき役割に立ち

返った時、長らくインハウスフォントとして当社の印刷を支えてきた秀英体を生かし、後世に繋げていくために必要なことは、オープン化であった。

フォントの導入形態がパッケージからサブスクリプションへと変容し、多くのユーザーに対しても一律にフォントを届けられるインフラが整う中、そこへ搭載する影響力は大きい。利便性のみならず、書体が認知され、普及してゆくスピードの速さ、それらの波及効果も相まって、秀英体が利用される頻度は高まり、その利用シーンも、この十年で着実に広がりを見せていく。

2016年、活版印刷の風合いを再現した「にじみフォント」の第1弾「秀英にじみ明朝L」を発表した。オンペーパーからオンラインストリーンと利用環境が進展する中にあっても、温かみを感じさせるアナログな質感を求める声が多い。活版で刷られた秀英体が紙面上でどのように表現されていたかを細かく分析し、当社が長年培ってきた画像処理技術と組み合わせ開発した「にじみフォント」は、秀英体だからこそ取り組みといえる。(図2、3)

文字コミュニケーションを支えるために、当社が秀英体を通じてなにができるか、これからも向

秀英明朝 L 明けいそぐ夜の美しき竹の月	秀英角ゴシック金 L 明けいそぐ夜の美しき竹の月
秀英明朝 M 明けいそぐ夜の美しき竹の月	秀英角ゴシック金 M 明けいそぐ夜の美しき竹の月
秀英明朝 B 明けいそぐ夜の美しき竹の月	秀英角ゴシック金 B 明けいそぐ夜の美しき竹の月
秀英横太明朝 M 明けいそぐ夜の美しき竹の月	秀英角ゴシック銀 L 明けいそぐ夜の美しき竹の月
秀英横太明朝 B 明けいそぐ夜の美しき竹の月	秀英角ゴシック銀 M 明けいそぐ夜の美しき竹の月
秀英初号明朝 明けいそぐ夜の美しき竹の月	秀英角ゴシック銀 B 明けいそぐ夜の美しき竹の月
秀英アンチック 明けいそぐ夜の美しき竹の月	秀英丸ゴシック L 明けいそぐ夜の美しき竹の月
秀英四号かな 明けいそぐ夜の美しき竹の月	秀英丸ゴシック B 明けいそぐ夜の美しき竹の月
秀英四号太かな 明けいそぐ夜の美しき竹の月	秀英にじみ明朝 L 明けいそぐ夜の美しき竹の月

図1 秀英体のラインアップ

合っていきたい。

「文字もじMOJIの世界」

「まずは半年から」と始まった本コラムも、早いもので1年が経ち、いよいよ自分が書き手に回ることになった。きっかけは『印刷雑誌』の中村さんとの出会いだった。毎号『印刷雑誌』の連載を読んでいた私は、文字やフォントにスポットを当てた連載を加えてはどうか、とその場で投げかけた。それを編集部が受け止めてくれた。文字を生業にする人の声を発信する場にできればとも考え、リレー形式をとることにした。外字のない世界の実現に向けて活動する文字情報技術促進協議会とも連携し、より多くの人の目に触れるべく、協議会のサイトでもコラムの公開をはじめた。毎回のテーマを企画し、執筆者と対話すること

秀英明朝 L 明けいそぐ夜の美しき竹の月	秀英角ゴシック金 L 明けいそぐ夜の美しき竹の月
秀英明朝 M 明けいそぐ夜の美しき竹の月	秀英角ゴシック金 M 明けいそぐ夜の美しき竹の月
秀英明朝 B 明けいそぐ夜の美しき竹の月	秀英角ゴシック金 B 明けいそぐ夜の美しき竹の月
秀英横太明朝 M 明けいそぐ夜の美しき竹の月	秀英角ゴシック銀 L 明けいそぐ夜の美しき竹の月
秀英横太明朝 B 明けいそぐ夜の美しき竹の月	秀英角ゴシック銀 M 明けいそぐ夜の美しき竹の月
秀英初号明朝 明けいそぐ夜の美しき竹の月	秀英角ゴシック銀 B 明けいそぐ夜の美しき竹の月
秀英アンチック 明けいそぐ夜の美しき竹の月	秀英丸ゴシック L 明けいそぐ夜の美しき竹の月
秀英四号かな 明けいそぐ夜の美しき竹の月	秀英丸ゴシック B 明けいそぐ夜の美しき竹の月
秀英四号太かな 明けいそぐ夜の美しき竹の月	秀英にじみ明朝 L 明けいそぐ夜の美しき竹の月

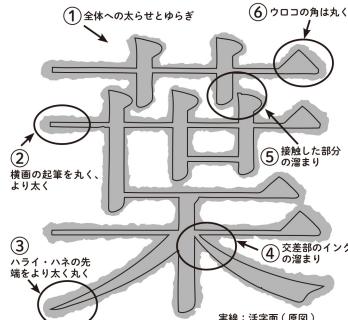


図2 にじみの分析

から得る学びや発見もある。これまで協力いただいた方々と編集部に感謝するとともに、これからもできる限り、続けていければと思っている。
(つづく)

言葉のよくな



図3 秀英にじみ明朝L（左）と秀英明朝L